

ミニギャラリー

▼熊野高校3年 進矢 裕美

【評】般若心経に挑戦してみました。般若心経は、細い筆の練習課題としてよく利用されます。この作品は、気持ちを落ち着かせて、のびのびと書いているところがすばらしいです。



(敬称略)

▼熊野高校3年 永柄 優美

【評】B1パネルに発泡スチロールで形を作り、アクリル絵の具で着色した作品です。バックにも工夫を凝らし、さまざまな素材を使用し、とても夢のある作品に仕上がりました。



熊野の自然 (154) ガマ (ガマ科)



「きれいな水に 身を洗いはもとの 白兔」。怒ったワニガメに赤裸にされた因幡の白兔が、大黒様に教えられ傷を治した話です。しかし、傷や炎症などに効果があるのは蒲黄と呼ばれる雄花の黄色い花粉で、穂綿にはありません。ガマの名の由来については、漢名「香蒲」の音読みのカマ、朝鮮語のカムなどの説があります。カムは材料の意味です。葉を編んで敷物に、茎をすだれに利用します。穂綿は、綿のように詰め物に使いました。写真のソーセージのような部分が、熟した雌花の穂です。昔、これを蒲鉾と呼び、加工食品の竹輪蒲鉾の名となりました。現在のチクワです。雌花の穂の上には、枯れた雄花

の穂が写っています。ガマの仲間は池や湿地などに生え、日本に分布する3種全部が熊野町で見られます。ガマは大形で、葉の幅が広く1〜2cmあります。コガマは、葉の幅が0.5〜1cmです。どちらかわかりにくい時は、花粉を顕微鏡で見れば確実に区別できます。ガマは4個ずつつくつき、コガマは1個ずつ離れています。ヒメガマは、雄花の穂と雌花の穂が離れているので、一番わかりやすい種類です。

冬、種が熟し乾いた雌花の穂は、何かの刺激を受けると崩れ、綿くずのように穂綿が出てきて風に飛び散ります。冬のガマに出会ったら、触ってみるとおもしろいですよ。

【写真・文 富沢由美子】

町の人口と世帯数 (前年同月比較)

平成14年5月31日 平成13年5月31日

26,161人...人口...26,146人
12,807人... 男 ...12,772人
13,354人... 女 ...13,374人
9,691 ...世帯数... 9,550

熊野町の火災と救急 平成14年5月中

火災	2件
死傷	0人
救急搬送	69人
救急搬送	66人

火災と救急の通報は119番

その他、消防の問合せ・相談はこちら
海田地区消防署熊野出張所
TEL854-1103

今月の題字



熊野高校1年生 池田 梨紗さん

